



練習を見学!



まずは、湘南ベルマーレの選手の練習風景を見学、選手も子どもたちも真剣です。

ピッチの横であこがれの反町監督にインタビュー!



練習が終わるのを待って反町監督へインタビューを行いました。本物の記者と同じように「かこみ取材」。監督は、緊張した子どもたちの質問にも優しく、丁寧に答えてくださいました。

いよいよ新聞作り!



1～2時間ほどかけてB4版1ページの新聞作りをしました。取材をもとに記事を書き、写真を貼り付けたりとみんな真剣に取り組んでいました。

体験

きのこ苑 お山のたいしょう

きのこ苑お山のたいしょうは、味覚狩りや体験が楽しめる農家レストランです。小さなお子様でも参加できるものばかりです。皆さんもその季節ならではの楽しみを実感してみませんか。

しいたけ狩り ◆期間 通年

◆料金 入園料なし。100gあたり220円の量り売り。採れたてを炭火焼きでお召し上がりいただくこともできます。

◆その他、みかん狩り、草木染め、こんにやく作りやおもちつきなども体験することができます。詳細はお問合せ下さい。

◆場所 小田原市根府川657 ◆問合せ TEL/FAX0465-29-1393

◆定休日 木曜日 ◆アクセス JR根府川駅から徒歩25分
車利用の場合、西湘バイパス石橋出口から10分



ベルマーク運動で協力ありがとうございます。

みなさんから寄せ頂いたベルマークは東日本大震災で被災したベルマーク参加校へのお届け分をベルマーク教育助成財団に送り、ベルマーク預金にさせていただきました。ポイント集計に関しては後日ご報告いたします。今後ともベルマーク運動にご協力をよろしくお願いいたします。



とてもフレンドリーな
アジエル選手!



child press club
C.P.C.
ASA
Management
Research Center
of Chigasaki
記者クラブ



第3回子ども記者クラブ

「スポーツ記者を体験して
新聞をつくろう!!」



好天にめぐまれた8月24日、「第3回子ども記者クラブ」が馬入ふれあい公園サッカー場で行われました。茅ヶ崎市、平塚市、寒川町の小学生17人が参加し、みんな元気よく湘南ベルマーレの選手や監督にインタビューしたり新聞作りに挑戦しました!!



新聞完成!
お疲れさまでした!

一日で取材をし、記事作りと大忙しでしたが、りっぱな新聞を作ることができました。

選手を代表してアジエル選手にもインタビューが行われました。

「小さい頃あこがれていた選手は?」との質問には、「特定の選手にあこがれはなかったんだけど、色々な選手の良いところを真似をするようにしたら、アジエルになったよ!」と子どもたちは緊張しながらも元気に質問しました!

アジエル選手「オブリガード」!



最後に通訳の西村さんにポルトガル語をひとつ教えてもらいました。

「オブリガード」はポルトガル語で「ありがとう」という意味だそうです。みんなでアジエル選手に「オブリガード」とお礼をいいました。

掲載されました!

当日は本紙の記者も取材に訪れ、8月31日(水)は朝日小学生新聞に、9月1日(木)には朝日新聞朝刊湘南版に「子ども記者クラブ」の記事が掲載されました!



朝日小学生新聞

朝日新聞

平塚港 地どれ魚直売会

次回の開催

日時：2011年9月30日(金)15:00～

会場：新港荷さばき施設 ※売り切れ次第、終了します
※シケ・不漁時は中止

【内容】

一本釣りの鮮魚・活魚
定置網の朝どれ鮮魚
釜揚げしらす・生しらす
地場産ひもの「須賀湊の開き干し」 地場産野菜など

売上げの一部を東日本大震災の漁業・漁村災害復興対策本部を通じ義援金としています。

開催の確認は平塚市漁協 HPにて
<http://www.jf-hiratsuka.org/>



活魚は、その場で活け締めにしてもらって持ち帰ることができます。



JA湘南あさつゆ広場より地場産のとれたて野菜・果物も。

地どれ魚直売会は、平塚市漁業協同組合の漁業者が、地元で獲れる新鮮な魚を直接、消費者のみなさんに直売する催しです。



「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグクラブのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい、そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ

「もう平塚で何百試合戦ったのだろう」

プロ生活 15 年目。
2000 年にジュビロ磐田から湘南に移籍し、12 年。
いつの日も決して楽ではなかった。
そして今季も 1 年で J1 復帰を果たすべく、
厳しい状況の中で戦い続ける。
チーム最年長となり重責を自分に課すベテランは、
サポーター、そしてホーム「平塚」への思いも人一倍強い。



No.8 MF 坂本 紘司

今シーズンの戦い

昇格を目指しているという意味では、自分自身もそうだし、応援している皆さんも 2009 年（昇格を決めた年）と比べてしまうでしょう。あのときも、決して楽な試合ではなかった。5 分 5 分だったり、むしろ自分では分が悪く感じるような試合が多かったんです。けれど 1 点差で勝ち切ったり、ビハインドを追いついたり… そんな粘り強さがあった。今年のチームに足りないのはそこだと思います。勝っていても追いつかれる。先取点を取られて逃げ切られる。もう少しのところで勝ち切れず、いい結果がだせていないことが負の連鎖を生んでいます。

昇格するまで J2 の 10 年間、ずっと悔しい思いをしてきたけれど、一度昇格して J1 を経験しているということ、戦力的にも特に劣っているというわけでもない、内容のいいゲームも多いということを見ると、この順位（第 27 節終了現在 12 位）にいるふがいなさ、悔しさは今まで経験したことのない、最も厳しい一年かもしれません。

今年は大幅にメンバーが替わりました。J1 のクラブで戦っていた選手も多い。ただ個々のポテンシャルは高くても、新卒でプロ入りした選手も含め、J2 のスタイルや戦い方に慣れていない部分はあったと思います。昇格争いの戦い方っていうのは J2 特有のものがありますから。そこは、僕や幸平（白井幸平選手）が、しっかり引っ張っていかねばならないところです。

年齢を重ねたことで、できるようになったこと

年齢を重ね、経験値を積み上げてきたことで、できるようになったこともあります。試合中もボールを追いかけるだけでなく、まわりのこと、チームのことを考え、いろいろな部分を冷静に見られるようになりました。ゲーム中に何が起るかを予測して事前に対応したり、チームメイトの心理状態を読んで声かけをしたり。若いころは「自分が決めてやる」という意識が強くて、一か八かのチャレンジをしていましたが、今は少なくなりました。ベテランらしく落ち着いていると語られることも多

いけれど、僕自身はそれがすごく淋しい。若い選手のプレーは失敗も多いけれど、そのなかでときにキラッと光るプレーがありますよね。「自分も若いころそうだったな」と思うし、今でももっとチャレンジしていかねばとも思います。

フィジカル的には、落ちていくという自覚は全然ないですよ。もともとスピードが売りではないし、試合中 90 分戦う体力は十分もっています。ただ、疲労の回復には少し時間がかかるようになったかもしれません。だからトレーニング前後の身体のケアには人一倍気を遣うようにしています。

無理しないようにとか疲れをためないようになどと（手を）抜くことはしないです。ダッシュの練習でも 1 本 1 本全力でやっています。今日は軽めにしておこう、なんて考えていたら選手としては下り坂のはじまり。そうしたらピッチに立つ資格はないし、実際にメンバーにも入れないでしょう。そういう危機感はずねに持っています。

ホームはなぜ戦いやすいか

もう 12 年目ですが、平塚競技場に入るといまだにワクワクするんです。そして毎回、今日は勝てる！って感じる。もちろん負けるときもありますけれど・・・（笑）

そこは見慣れた風景だから落ち着くんですね。競技場やピッチの広さはもちろん、芝、照明、風などの細かいことも肌感覚でわかっている。自分がボールを持っている位置やそのとき仲間がどのへんにいるか、ゴールまでの距離感。そういったものが周りの風景とともに感覚でわかるんです。そういうやりやすさがあります。

またサポーターも多いですから、自分たちのチャンス のときには『わあ〜』と一気にスタンドが沸きますよね。だから『あつ、今チャンスなんだ』って・・・（笑）もちろん自分でもチャンスはわかっていますけれど、そのスタンドの声援に背中を押されて『ここは勝負だ！絶対決めてやる』って、気持ちもより高まります。

終盤の戦い

みんなから期待されているように、チームに必要なのは“得点力”。追加点を決め切れていけば勝てる試合も多かった。僕の仕事は点を取る。それ以外のことは精いっぱいやっているけれど、今、一番チームを助ける仕事は“ゴール”です。ベテランならではの勝負強さを見せて、ゴールを取る、または誰かにゴールを取らせることを強く自分に課して、最後まであきらめずにやっていきます。

（インタビューは 9 月 5 日に実施）



Private Time

引退して、現在は東京で働いている原竜太とは今でも仲がいいですよ。竜太の娘も僕になつてくれているし、家族と一緒に食事に行ったりしています。彼はチームのことを気にして、聞いてきたりしますが、全般的にサッカーの話はあまりしないですね。

オフはたま〜に買い物かな。この前、何か月ぶりかで洋服を買いに電車で横浜へ。でも用がすんだら 1~2 時間くらいですぐ帰ってきました。そんな感じです（笑）

NEXT HOMEGAME

9 月 28 日 (水) 19:00 キックオフ

@平塚競技場

湘南ベルマーレ vs. カターレ富山

9 月 11 日第 27 節アウェイの富山戦では、前半に 2 点先行されながらも、後半、白井、田原、高山選手のゴールで 3 点を奪い、今季初の逆転勝利。最後まであきらめない気迫で 6 試合ぶりの勝点 3 を掴み取り、遠く富山まで駆けつけ、90 分間声援を送り続けたサポーターと喜びを分かち合いました。

東日本大震災の影響で、次のホームゲームは第 5 節、再びカターレ富山との対戦となります。勢いにのって今度は平塚競技場で 1 万人のサポーターと勝利のダンスを踊りましょう。

●ホームゲーム試合日程 ※会場はすべて平塚競技場

節	開催日	キックオフ	対戦相手
5	9 月 28 日 (水)	19:00	カターレ富山
30	10 月 1 日 (土)	16:00	ガイナレ鳥取
32	10 月 22 日 (土)	14:00	FC岐阜
7	10 月 26 日 (水)	19:00	京都サンガ F.C.

◆市民・町民デーチケット

「市民・町民デー」に該当する市・町に在住・在勤・在学の方は、通常価格より半額の「市民・町民デーチケット」をご購入いただけます。詳しくは公式 HP で。10/1 小田原市民デー 10/22 平塚市民デー

Fリーグ Infomation

第 7 節終了現在、7 位の湘南ベルマーレですが、依然として混戦模様が続いている Fリーグ、連勝によって一気に浮上するチャンスもあります。手に汗握る攻防、迫力のゲームをぜひ小田原アリーナで体感してください。

●ホームゲーム試合日程

節	開催日	キックオフ	対戦相手
11	10 月 16 日 (日)	14:00	エスポラーダ北海道
13※	10 月 29 日 (土)	14:00	バサジィ大分
14	11 月 5 日 (土)	17:00	ベスカドーラ町田
16	11 月 20 日 (日)	14:00	シュライカー大阪

◆会場は小田原アリーナ。※は藤沢市秋葉台体育館